



消防大学校だより



新任消防長・学校長科における教育訓練

消防大学校では、消防吏員として消防業務に従事した経験のない新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させることを目的に「新任消防長・学校長科」を設置しています。

本年度の「新任消防長・学校長科」は、第30期(4月13日(火)～4月23日(金))は14名、第31期(5月11日(火)～5月21日(金))は21名が入校し、総員35名が11日間に及ぶ研修を受け、34名が無事卒業しました。1名は、所属における新型コロナウイルス感染症対応のため、途中退校しました。

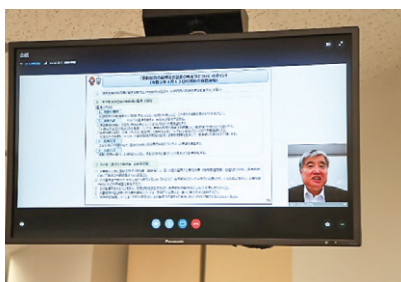
研修では、横田消防庁長官を始め、消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義や清水全国消防長会会長による講話、各人が抱える課題等についての討議、及び消防人として必須である消防訓練礼式等を受講し、消防組織のトップとしての職責を認識するとともに、消防職の心構えについて積極的に学びました。

また、実科では実火災体験型訓練(ホットトレーニング)の見学や、防火衣及び空気呼吸器の装着体験を行い、消防職員の過酷な環境での現場活動の実態を理解しました。大規模地震時における常備消防と消防団との連携を想定した指揮シミュレーション

訓練では、指揮者の状況判断の難しさや、各機関との連携の重要性について理解を深めました。さらに、危機管理広報では、組織内で不祥事が起きた際の報道対応の実習を行い、危機事案発生時の適切な広報技術の向上を図ることができました。

研修を終えた学生からは、「消防行政の諸課題について学ぶ中で、自分が果たさなければならない役割について理解でき、職務に対する覚悟を持つことができました。」「消防とは」の不安を解消させていただきました。概要、基礎知識を学ばせて頂いて大変有難く思っております。わずかながらでも消防魂を習得できたことに感謝しております。」「日課計画に基づいた座学を通して、消防長としての立場や役割についてよく理解できた点は有益でありました。ご縁あって同部屋となった仲間と日頃の悩みについて意見交換できたことも大変有意義だったと感じています。」「行政職員が消防職に就くことの意義や、専門的な知識を実装なども通じて幅広い観点から学べたことが職責を全うしようとする上で、非常に有益でした。また、他県との情報交換は業務上の疑義への対処方法などが参考となり、今後も関係をつなぎ生かしていきたいと思っております。」など、教育科目全般及び学生相互の交流を含め、有益であったと評価する意見が多数寄せられました。

今後は、一般行政職員の幹部としての経験や知識に加え、「新任消防長・学校長科」で習得した知識等をいかして、各組織のトップとして住民の安心・安全に貢献し、大いに活躍されることを期待いたします



長官講話(消防庁からリモート講義)



訓練礼式



指揮シミュレーション訓練

危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護 コースにおける教育訓練

消防大学校では、地方公共団体の危機管理・防災担当、国民保護担当者に対する研修課程として、その業務に必要な行政動向等の知識及び能力を習得させることを目的に「危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース」を実施しています。

令和3年度の危機管理・国民保護コース（第11回）においては、学生32名が、消防大学校での8日間（令和3年4月15日～22日）の全寮制の集合教育を終え、全員が無事修了しました。

研修は、消防庁幹部による国民保護法制の概要に関する講義をはじめ、専門家による危機管理の初動や応急対応に関する講義、災害事例として平成28年4月の熊本地震における熊本市災害対策本部の受援体制等、危機管理担当者の業務に応じた実践的なカリキュラムで実施し、必要な知識及び能力の習得に努めました。

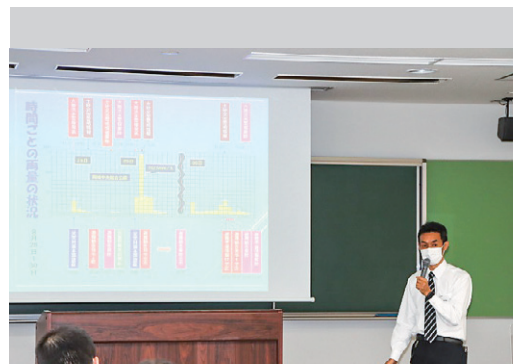
課題研究では、入校前にあらかじめ示したテーマである「地方行政における危機管理」に関して、近年の不安定な国際情勢及び大規模化する自然災害等について各班で活発な意見交換がなされ、代表者が発表を行うことで各自治体が直面している課題について多くの意見が交わされました。

研修を終えた学生からは、「全国各地から集まった学生と、最新の防災に対する課題や、災害対応等の問題について情報交換する中で、危機管理や国民保護の理解が深まった」、「他県・他部局の考え方や進め方を知る機会が得られ有益であった」等の意見が多く寄せられました。

今後は、消防大学校で習得した知識を糧としてさらに大きな力を発揮するとともに、共同生活で培った各自治体のネットワークを活かして、それぞれの地域での更なる活躍が期待されます。



指揮シミュレーション訓練



課題研究発表



消防庁講堂での講義

問合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712